
慈 恵



令和元年 No.68

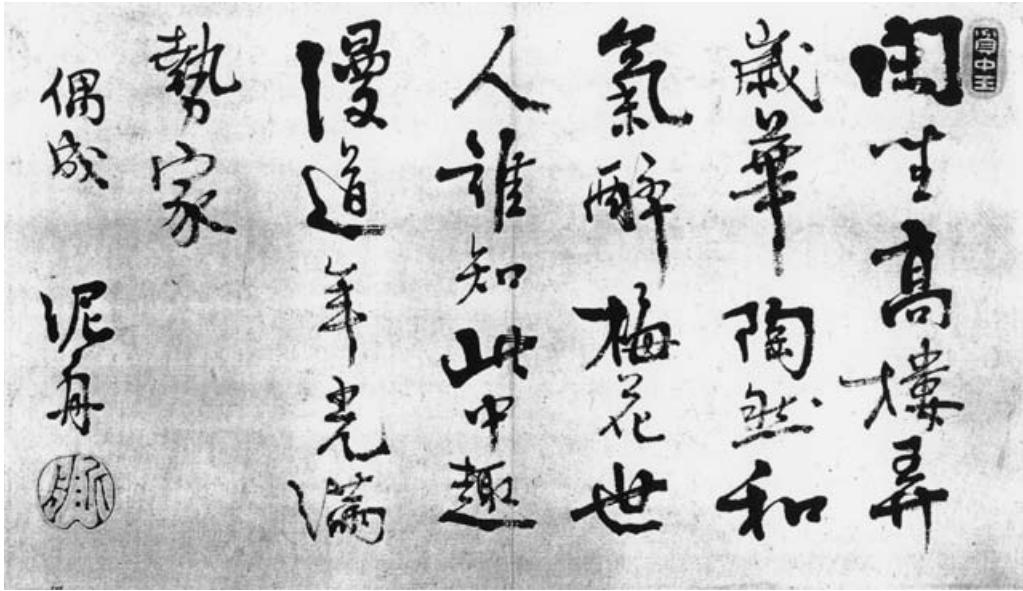


秋

宗教法人 慈 恵 院

付属 多摩犬猫霊園

鑑賞



高樓に閑坐して歳華を弄す

陶然たる和氣梅花に酔う

世人誰か知らん此中の趣を

漫に道う年光勢家に満つと

偶成 泥舟

高橋 泥舟

幕末の幕臣。槍術に秀で、国事に通じ、講武所教授となり、一八六三年（文久三）新徴組を統率。鳥羽伏見の戦後、恭順謹慎説を主張。江戸城明渡し後は徳川慶喜を護衛。山岡鉄舟・勝海舟と共に幕末三舟と称。（一八三五―一九〇三）

すり鉢一つの生活

諸国行脚の旅に出て二十年、良寛はようやくやくふるさと越後へ帰って、国上山のふもとに草庵を結んだ。五合庵と名付けたその庵には、たった一個のすり鉢のほか、道具らしいものは何もない。良寛はそのすり鉢で味噌をすり、粥をたき、そのまま食器がわりにして粥をすすする。また顔や手足を洗うのにも、そのすり鉢ひとつで用を足していた。毎日、村から村へ托鉢してまわり、布施の米が五合になれば、庵へ帰ってくる。

ある人が、あまりの貧寒に慰めの言葉をかけると、
住みなれて、こゝも蘆山の 夜の雨
と一句をよんで、それに答えた。

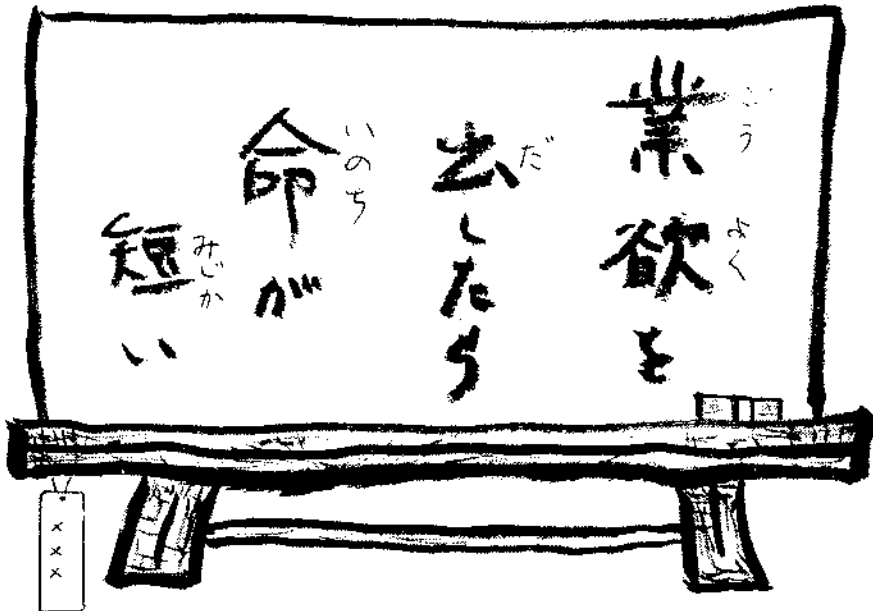
「禅門逸話集成」より

良寛

(二七五八〜一八三二)

江戸後期の禅僧・歌人。俗名山本栄蔵、号は大愚。越後の人。諸国を行脚の後、帰郷して国上山の五合庵に住。性恬淡、村童を友とし、高潔の人格を敬仰された。書を以て知られ、また漢詩・和歌にすぐれた。弟子貞心尼編の歌集「蓮の露」などがある。

掲示板





大切な思い出

国分寺市 近山 良枝(60)

私の周りでもペットを飼っている人は大勢おり、またテレビの番組欄には動物に関する内容の番組が多数放送されています。そんな中、様々な動物番組で頻繁に可愛らしく取り上げられるのがペットと小さい子供の組み合わせです。ワンちゃんと小さい子供を見るたびに微笑ましい気持ちになります。

しかし、以前に我が家で飼っていたメス犬のナナはそんな微笑ましさとは無縁のかなりやんちゃな子でした。ナナは子供がまだ幼稚園に通っていた時に貰ってきた子で、ナナもまだ幼くて、二人の子供も動物に強い興味を持つお年頃なだけに加減知らずに扱ったせいか、ナナに母性が芽生える気配は少しもありませんでした。私の実家で飼っていたオス犬のコータは赤ちゃんの頃から子供達のことを知っていたためか、子供達に対してとても静かに大人な態度を示していたので、ナナの天衣無縫ぶりにはやや面喰いしました。

犬は家族一人一人を観察して序列をつけると言いますが、ナナも私達のことを厳しい目で見ていたようです。自分より格下と思われる、散々泣かされ、なめられたのは下の子供です。始まりはおそらく、遊びの延長で加減がわからずじゃれついたらピーピー泣き出したのがおもしろかったのでしょう。出会いから10年以上たち、ナナが亡くなるまでこの力関係は変わりませんでした。

ナナは私や旦那に対しては散歩や躑、餌やり担当だったせいか、聞き分けが良く、従順でした。一方で子供達にはなめきった態度をとっていましたが、家族の中で一番好きだったのは子供達だと思えます。飼い主とペットというより同世代のお友達のような感じでした。

ある日子子供達が庭でナナを離して遊んでいると、縁側から子供達が私を呼びます。他愛のないことを子供達と喋っていると話声を聞きつけたナナがやってきます。子供達の間から顔を覗かせたナナが楽し気に喋っている私達を見上げる姿はニコシしながら一緒におしゃべりに参加しているように見えました。実際、機嫌良く振られた尻尾と息が上がったのか半開きになった口元は口角が上がって微笑んでいるようでした。また、心なしか目尻が下がっているようにも見え、子供達につられて笑顔を浮かべているように見えました。後にも先にもナナが笑っていると感じたのはその時だけです。その時の写真は今でもアルバムに大切に取ってあります。鬼籍に入ってもう20年以上たちますが、子供を泣かしていたことや楽しそうに遊んでいた姿を今でも思い出します。

秋ごよみ

11 月	10 月	9 月	
		9 / 26 明け <small>(秋分の日)</small> 9 / 23 中日 9 / 20 入り 彼岸会	当山行事
● 11 / 8 立冬 ● 11 / 22 小雪 ● 11 / 23 勤労感謝の日 ● 11 / 3 文化の日 ● 11 / 15 七五三の祝い	● 10 / 8 寒露 ● 10 / 24 霜降 ● 霜降の陶ものつくる翁かな (飯田蛇笏)	● 9 / 8 白露 ● 9 / 23 秋分 ● 秋分の時どり雨や ● 9 / 13 十五夜 <small>(中秋の名月)</small> ● 9 / 9 重陽の節句 <small>(菊の節句)</small>	二十四節気
● 11 / 8 立冬 ● 11 / 22 小雪 ● 11 / 23 勤労感謝の日 ● 11 / 3 文化の日 ● 11 / 15 七五三の祝い	● 10 / 8 寒露 ● 10 / 24 霜降 ● 霜降の陶ものつくる翁かな (飯田蛇笏)	● 9 / 8 白露 ● 9 / 23 秋分 ● 秋分の時どり雨や ● 9 / 13 十五夜 <small>(中秋の名月)</small> ● 9 / 9 重陽の節句 <small>(菊の節句)</small>	祝日等

「こよみ事典」東京美術 参考



Photo H.M

音楽・弁才・福智・延寿・除災・得勝をつかさどる女神。七福神の一。

スポット

その三

弁才天

(弁財天) 正門池のほとり